

Sablecc

いったい何度パーザを書けば気が済むんだといわれそうだけど、
Sablecc でパーザ書いてみたり、
文法定義と、実装が完全に別れていたり、
できたコードを動作させるのに特別なランタイムが必要なかったり、と
いい感じ。
基本的な使い方は、DepthFirstAdapter を継承した解析クラスつくって

```
outXXX
```

で処理を書いていく。
DepthFirstAdapter で定義してある、パーズ結果の深さ優先が嫌なときは、

```
caseXXX
```

で順番を変える。
なかなか気持ちよく書けるなあ。